

# 森ハブ・プラットフォームにおける会員登録状況

会員数

464者 (1/31時点)

会員の業種 ※複数回答

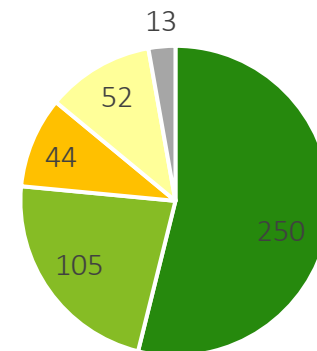
業種	件数
林業	299
林業支援サービス業	102
製造業	79
公務	78
学術研究・専門・技術サービス業	71
その他サービス業	55
建設業	39
情報通信業	32
卸売業・小売業	19
金融業・保険業	11
電気・ガス・熱供給・水道業	10
教育・学習支援業	10
農業・漁業	9
不動産業・物品賃貸業	9
生活関連サービス業・娯楽業	4
宿泊業・飲食サービス業	3
鉱業	2
運輸業・郵便業	2
医療・福祉	1
その他	24

※ここでいう「林業支援サービス業」とは、森林組合や素材生産事業者等の林業経営体に対して、作業の負担軽減や生産性向上支援等を行うサービス業のことを指します。

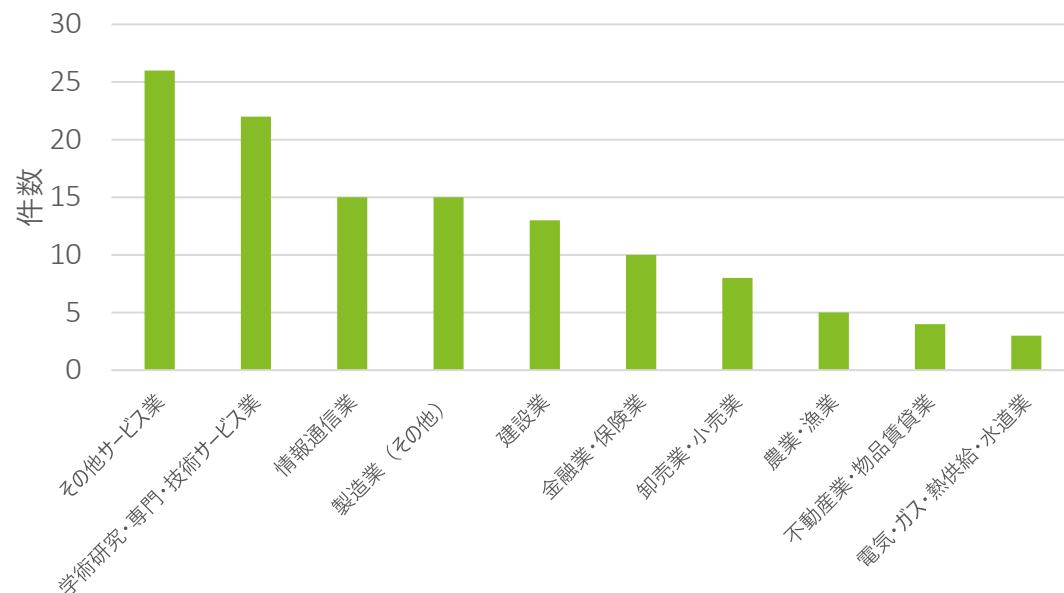
※会員登録時の入力内容に基づき事務局が集計。

会員の森林・林業分野への参入状況

- 参入済 (10年以上経過)
- 参入済 (10年未満)
- 未参入 (参入意向あり)
- 未参入 (参入検討中)
- 未参入 (その他)



会員の業種 (森林・林業分野へ未参入のみ) ※複数回答



# 森ハブ・プラットフォームキックオフイベントの概要（令和5年11月29日開催 @農林水産省）

## ■ プログラム

### 第1部

#### 主催者挨拶

#### 主催者説明「森ハブ・プラットフォームについて」

#### 講演「静動脈連携～課題起点の社会デザイン」

#### 見山 謙一郎 氏 [事業構想大学院大学 特任教授]

会員がプラットフォームを活用してどのように自らの事業等に役立てられるか、自ら発信していくこと、能動的に参画することの重要性について講演

#### 事例紹介・総括

#### 立花 敏 氏 [筑波大学 生命環境系 准教授]

#### 事例①ドローンによる苗木運搬 中川 雅也 氏 [株式会社中川]

新技術の積極導入により、生産性、安全性の向上に加え、雇用環境を改善、新たなビジネス機会も創出。

#### 事例②電動型一輪クローラの開発 上月 康博 氏 [elever labo合同会社]

他分野から林業分野へ参入し、現場ニーズを踏まえて造林作業向けの機械を開発、製品化。

### 第2部

#### 会員間交流・情報交換会

参加申込み時に関心のある領域（森林計画等の11分類）を選択し、同じ関心を持つ会員同士が事業内容等の紹介・意見交換を実施。

## ■ 当日の様子

### 第1部



### 第2部



# 森ハブ・プラットフォームキックオフイベントの概要（令和5年11月29日開催 @農林水産省）

## ■ 第2部の各分野における参加数、ニーズとシーズ

	森林調査、伐採・造林計画	境界確定	伐採・集材・運材作業等の素材生産	造林・保育作業	木材流通・取引
人数	31	14	19	13	13
ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>省力化・効率化、低コスト化</li> <li>マンパワー不足</li> <li>正確な情報の把握</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>正確な情報の把握</li> <li>効率化、低コスト化</li> <li>相続・不在村者対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全性の向上</li> <li>省力化・効率化</li> <li>生産管理・コスト分析等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業の軽労化・省力化、担い手の確保</li> <li>低コスト化</li> <li>作業の無人化とそれに合う施業方法</li> <li>獣害対策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高値・安定取引</li> <li>木材流通の効率化</li> <li>販路拡大</li> </ul>
シーズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林資源計測・解析および材積調査に関する技術・サービス</li> <li>森林資源情報等の共有サービス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>境界確定のデジタル化に関する技術・サービス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>林業機械の自動化・遠隔操作化に関する技術</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>造林作業の機械化に関する技術・サービス</li> <li>低コスト化に向けた造林技術</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>木材流通に関する技術・ノウハウ</li> <li>資材管理技術</li> <li>木材加工技術</li> </ul>
	Jクレジット・森林によるCO <sub>2</sub> 吸収	育種、苗木生産	森林保護（獣害対策等）	通信	新素材開発
人数	34	6	6	6	4
ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>クレジット創出の省力化・効率化</li> <li>クレジット販売促進</li> <li>方法論構築・改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>早生樹研究の活発化</li> <li>種子調達・広葉樹栽培技術の確立</li> <li>人材育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>シカなどによる食害の防止等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>山林での通信の確保</li> <li>通信分野の新技术に関する情報</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>木材の用途の拡大</li> <li>未利用材の活用</li> </ul>
シーズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>クレジットの創出支援</li> <li>クレジット創出の省力化・効率化の関連技術</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究開発に活用可能なフィールド、技術</li> </ul>	(特になし)	<ul style="list-style-type: none"> <li>衛星を用いた通信サービス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>建築分野における技術等</li> </ul>

## ■ プログラム

### 林業現場の課題解決に役立つ最新技術のプレゼンテーション

森ハブ・プラットフォーム会員が、林業現場の課題解決に資する製品・サービス等を提案します。

（ピッチ登壇者の募集概要）

- ・ 森ハブ・プラットフォーム会員であること
- ・ 下表の4分野における林業現場の課題・ニーズに合致する製品・サービスの紹介であること
- ・ 2月8日（水）のシンポジウム当日に会場での説明が可能なこと

（ピッチ登壇者の一覧）

①森林調査、伐採・造林計画	②境界確定	③伐採・集材・運材作業等の素材生産	④造林・保育作業
6件	2件	3件	5件
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 株式会社アドイン研究所</li><li>・ 株式会社woodinfo</li><li>・ 株式会社スカイマティクス</li><li>・ 株式会社パスコ</li><li>・ BEAVER-WORKS</li><li>・ ヤマハ発動機株式会社</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ かなめ測量株式会社</li><li>・ 株式会社パスコ</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 株式会社 BREAKTHROUGH</li><li>・ 松本システムエンジニアリング株式会社</li><li>・ 株式会社やまびこドローン</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 株式会社ギガソーラー</li><li>・ キャニコム</li><li>・ 筑波重工株式会社</li><li>・ 東洋エンジニア株式会社</li><li>・ 矢崎総業株式会社</li></ul>

（五十音順）

### 個別相談・情報交換会

プレゼン登壇者との個別相談ブースや、会員同士が自由に出入りして情報交換するために分野別ブース（木材流通、通信等も含む）を設けます。

# 森ハブ・プラットフォームのR6年度の取組概要（予定）

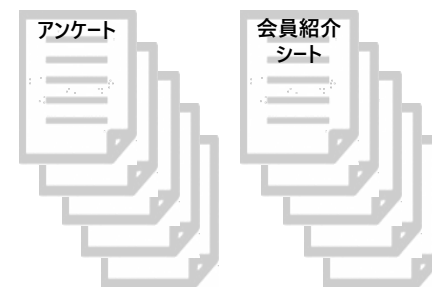
## 課題・ニーズ、技術シーズ等の把握、情報提供

### <目的>

プラットフォームの活動に必要な基礎的な情報の収集と会員への共有

### <主な取組>

会員紹介シートの収集・更新、アンケートによる林業現場の課題・ニーズ及び技術シーズの収集、収集した情報の整理・分析及び会員へ提供。



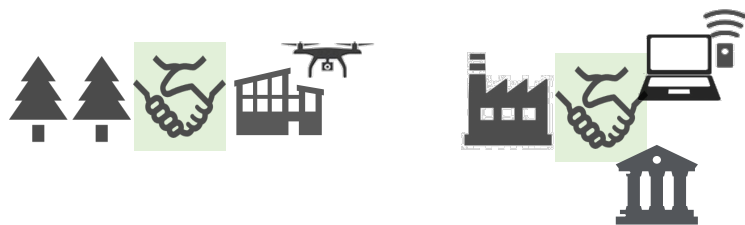
## イベント・会員間交流の開催

### <目的>

既にある解決策の普及(マッチング①)、今はまだない解決策の創出のための体制づくり(マッチング②)を推進

### <主な取組>

- ・個別相談会、情報交流会等による会員間交流の推進
- ・会員プレゼン資料のアーカイブ化等による情報の一元化
- ・現場ニーズを踏まえた解決策の提案の推進



## ワーキング・グループの設置・運営支援

### <目的>

特定の課題・テーマに関係・関心を有する会員が集い、課題解決を図ることなどを支援

### <取組概要>

- ・WGの設置要望調査を会員に実施
- ・設置されたWGへの参画募集を会員に実施
- ・WGの活動内容・予定等を会員へ周知



# 戦略的技術開発・実証事業（拡充）

【令和6年度予算概算決定額 70,000（70,000）千円】

## <対策のポイント>

林業の安全性、生産性及び収益性の飛躍的な向上や、「林業・木材産業」の枠を超える新たな技術・価値の創出に向けて、**林業機械の自動化・遠隔操作化、木質系新素材等の開発・実証**を支援します。また、**林業イノベーションハブ構築事業において構築したプラットフォームに参画する企業の協業による案件について、優先採択を実施します。**

### 機械・新技術の開発・実証

- ・伐倒・集材・運材や造林作業の自動化・遠隔操作化等に向けた林業機械の開発・実証
- ・森林内での利用可能性のある新たな通信技術の実証
- ・保安基準へ適合させるための林業機械の改良
- ・高出力のホイール型林業機械の開発・改良



自動化・遠隔操作化機械の開発



森林内での通信技術の実証

### 先進的林業機械の実証

- ・先進的林業機械の事業規模での実証、現場の実情に応じた改良

自動化・遠隔操作技術の実証等

社会実装・作業システムの普及



造林作業の遠隔操作化



集材作業の自動化



### ソフトウェア等の開発・実証

- ・林業機械の自動化・遠隔操作化をサポートするソフトウェアやシステムの開発
- ・森林作業の安全性・生産性向上に資するソフトウェアの開発

### 木質系新素材の開発・実証

- ・木材や森林由来の成分を活用し、高機能・高付加価値化やプラスチック代替に資する木質系新素材の開発・実証



新素材開発

- ・木質系新素材の山元から製造までの一貫した商品開発



地域一体型の  
ビジネスモデル構築

### <事業の流れ>



【お問い合わせ先】

林野庁研究指導課技術開発推進室（03-3501-5025）